

ヒトキマーゼ阻害薬の開発と臨床応用

浦田 ^{うらた} 秀則 ^{ひでのり} 福岡大学筑紫病院・内科第一 教授

キーワード 高血圧、虚血性心疾患、心不全、レニンアンジオテンシン系

研究概要

ヒト心臓から抽出されたヒトキマーゼに対する特異的阻害薬の開発

研究内容及び今後の展望

ヒト心臓から抽出されたヒトキマーゼに対する特異的阻害薬の開発。

キマーゼ阻害薬は心臓梗塞後の心筋リモデリング抑制・高脂肪食負荷後の動脈硬化進展抑制・糖代謝改善・血管バイパス後再狭窄抑制など動物モデルでは多くの効能が報告されている。今後はヒトを対象とした臨床研究が中心となるので多施設共同試験が必要である。

研究適用分野・用途

ヒトキマーゼ測定法とその臨床応用で明らかになった病態（例：心筋梗塞後、心不全、動脈硬化等）に対して、ヒトキマーゼ阻害薬の臨床応用を目指した臨床治験を施行する予定である。本邦では、ヒトキマーゼ阻害薬を開発している薬物会社がいくつかあり、今後Ⅰ～Ⅲ相にかけての臨床治験が行われる予定である。

| | |
|-----------------------|---|
| 研究設備 | ヒトキマーゼ遺伝子導入マウス・臨床サンプルのキマーゼ活性測定（アンジオテンシンⅡ産生酵素活性）及び遺伝子発現量の分析 |
| 企業に対する 二 一 ズ | <input checked="" type="checkbox"/> 共同・受託研究の相手 <input checked="" type="checkbox"/> 試作に協力する企業 <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果の事業化のパートナー <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 特許取得状況等 | ① 有 無 |